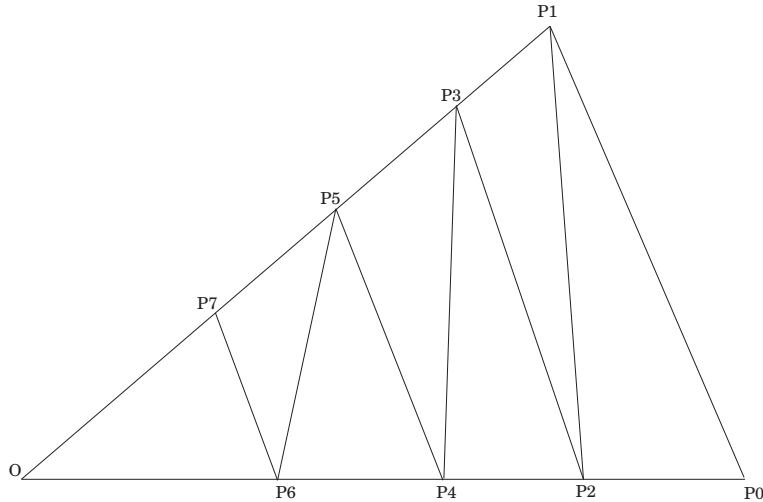


問題

1.  $\triangle OP_0P_1$  が与えられている .  
 辺  $P_0O$  上に点  $P_2, P_4, \dots, P_{2n}, \dots$  を , また辺  $P_1O$  上に点  $P_3, P_5, \dots, P_{2n+1}, \dots$  を適当にとつて , 次の三条件 (イ) ~ (ハ) がみたされるようにしうるための ,  $\triangle OP_0P_1$  についての条件を求めよ .  
 (イ)  $P_0, P_2, P_4, \dots, P_{2n}, \dots$  はこの順に線分  $P_0O$  上にならび , しかも  $n$  が大きくなるに従って ,  $O$  に近づく .  
 (ロ)  $P_1, P_3, P_5, \dots, P_{2n+1}, \dots$  はこの順に線分  $P_1O$  上にならんでいる .  
 (ハ)  $\triangle P_{n-1}P_nP_{n+1} \sim \triangle P_nP_{n+1}P_{n+2}$  が ,  $n$  のどの自然数値に対しても成立する .  
 (ここでいう相似は , 左辺の三角形の  $P_{n-1}, P_n, P_{n+1}$  が右辺の三角形の  $P_n, P_{n+1}, P_{n+2}$  に順次対応した相似を意味する .)
2. 上のように点がとれたとき ,  $\triangle P_{n-1}P_nP_{n+1}$  の面積を第  $n$  項 ( $n = 1, 2, \dots$ ) とする数列は  
 (イ) いつでも等比数列である  
 (ロ) 等比数列になる場合もあり , 等比数列にならない場合もある  
 (ハ) けっして等比数列にならない  
 のどれが正しいか , 理由を付して答えよ .

解答

$P_1, P_3, P_5$  はこの順に線分  $P_1O$  上に並んでいるが  $n$  が大きくなるにしたがって  $O$  に近付くとは決まっていない。  
 しかし、 $n$  が大きくなるにしたがって、 $O$  に近付かないとすると、可能性は  $P_3$  以降が、 $P_1$  からみて、 $O$  と反対側に並ぶか、 $P_1, P_3, \dots$  がすべて、 $P_1$  に一致するかある  $k < n$  において、 $O$  を越えてすすむかのいずれかであるが、 $O$  と反対側に並ぶ場合、と  $k < n$  において、 $O$  を越えてしまう場合は、線分  $P_1O$  上であるという指定に反するので、すべて一致するしかない。  
 しかしその場合、 $\angle P_{2n}P_{2n+1}P_{2n+1}$  がすべて  $0$  となってしまう、相似であることから  $\angle P_{2n+1}P_{2n+2}P_{2n+3}$  もすべて  $0$  となり、 $P_2, P_4, \dots$  がすべて、 $P_0$  に一致してしまう。  
 しかし、これは条件 (イ) の大きくなるにしたがって  $O$  に近付くということに反するため、 $P_1, P_3, P_5, \dots, P_{2n+1}, \dots$  はこの順に線分  $P_1O$  上にならび , しかも  $n$  が大きくなるに従って ,  $O$  に近づく . したがって、下の図のようになる。



$n = 1$  のとき、

$\triangle P_{n-1}P_nP_{n+1}$   $\triangle P_nP_{n+1}P_{n+2}$  より

$\triangle P_0P_1P_2$   $\triangle P_1P_2P_3$

これが成立するためには

$\angle P_0P_1P_2 = \angle P_1P_2P_3$

$\angle P_0P_2P_1 = \angle P_1P_3P_2$

$\angle P_1P_0P_2 = \angle P_2P_1P_3$

が成立すればよいが、三角形の内角の和は一定なので、このうち二つが成立すれば必要十分。

相似なので

$\angle P_0P_1P_2 + \angle P_1P_0P_2 = \angle P_0P_1P_3$

$P_0$  と  $P_2$  は一致しないので、 $\angle P_0P_1P_2 > 0$

$\angle P_1P_0P_2 < \angle P_0P_1P_3$

$\angle P_1P_0P_2 = \angle P_1P_0O$

$\angle P_0P_1P_3 = \angle P_0P_1O$

より、 $\triangle OP_0P_1$  について  $\angle P_0 < \angle P_1$  が必要。

また、このとき、

$\angle P_2P_0P_1$   $\triangle P_3P_1P_2$

$\angle P_0OP_1$   $\triangle P_1OP_2$

より  $\triangle OP_0P_1$   $\triangle OP_1P_2$

したがって、 $\triangle OP_0P_1$  の面積を  $S_0$  とすると

$S_0 : S_1 = P_0P_1 : P_1P_2$

$\triangle P_0P_1P_2$   $\triangle P_1P_2P_3$  なので

$P_0P_1 : P_1P_2 = P_1P_2 : P_2P_3$

また一般の  $k$  についても

$S_k : S_{k+1} = P_kP_{k+1} : P_{k+1}P_{k+2}$

であり、このとき  $\triangle P_kP_{k+1}P_{k+2}$  と  $\triangle P_{k+1}P_{k+2}P_{k+3}$  は相似なので

$P_kP_{k+1} : P_{k+1}P_{k+2} = P_{k+1}P_{k+2} : P_{k+2}P_{k+3}$

数学的帰納法より任意の  $k$  について、 $S_k : S_{k+1} = S_0 : S_1$

また、 $\frac{S_1}{S_0} = \frac{OP_1}{OP_0}$

よって、 $S_n$  は初項  $S_0$ 、公比  $\frac{OP_1}{OP_0}$  の等比数列  
ここで公比を  $r$  とおく

$$\triangle P_0 P_1 P_2 = S_0 - S_1$$

一般に

$$\triangle P_k P_{k+1} P_{k+2} = S_k - S_{k+1}$$

よって、

$$\frac{\triangle P_k P_{k+1} P_{k+2} : \triangle P_{k+1} P_{k+2} P_{k+3}}{\triangle P_{k+1} P_{k+2} P_{k+3}} = \frac{S_k - S_{k+1} : S_{k+1} - S_{k+2}}{S_{k+1} - S_{k+2}}$$
$$\frac{\triangle P_k P_{k+1} P_{k+2}}{\triangle P_{k+1} P_{k+2} P_{k+3}} = \frac{S_k - S_{k+1}}{S_{k+1} - S_{k+2}}$$
$$S_k = r^k S_0 \text{ より}$$

$$\frac{S_{k+1} - S_{k+2}}{S_k - S_{k+1}} = \frac{r^{k+1} S_0 - r^{k+2} S_0}{r^k S_0 - r^{k+1} S_0}$$
$$= \frac{r^{k+1} S_0 (1 - r)}{r^k S_0 (1 - r)}$$
$$= r$$

$$\text{よって、} \frac{\triangle P_{k+1} P_{k+2} P_{k+3}}{\triangle P_k P_{k+1} P_{k+2}} = r$$

よって、任意の  $k, k + 1$  に該当する三角形の面積の比は一定  
したがって、三角形の面積は等比数列となる。